【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【公表番号】特表2011-501658(P2011-501658A)
【公表日】平成23年1月13日(2011.1.13)
【年通号数】公開・登録公報2011-002
【出願番号】特願2010-527528(P2010-527528)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/68　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　1/18　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　1/175　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/68　ＺＮＡＡ
Ａ２３Ｋ　1/18　Ａ
Ａ２３Ｋ　1/175
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年9月16日(2011.9.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ラブラドールレトリバー品種の遺伝的形質を有するイヌにおける肝臓中銅蓄積に起因する疾患の予防剤であって、少なくとも４．５ｍｇ／ｋｇ～１２ｍｇ／ｋｇ乾物未満の濃度で銅を含む食品を含む、前記予防剤。
【請求項２】
（ａ）銅蓄積に対する感受性を示すイヌのＧＯＬＧＡ５、ＡＴＰ７ａもしくはＵＢＬ５遺伝子中の多型および／または（ｂ）前記多型（ａ）との連鎖不均衡における多型の有無を検出することを含む方法によって肝臓中銅蓄積に感受性であると決定したイヌにおいて、肝臓中銅蓄積に起因する疾患を予防する際に使用するための、請求項１に記載の予防剤。
【請求項３】
イヌは、少なくとも１つの多型（ａ）および少なくとも１つの多型（ｂ）の有無を検出することを含む方法によって、肝臓中銅蓄積に感受性であると決定されている、請求項２に記載の予防剤。
【請求項４】
多型が一塩基多型（ＳＮＰ）である、請求項２または３に記載の方法。
【請求項５】
イヌは、ＢＩＣＦ２Ｐ５０６５９５（配列番号：１）、ＢＩＣＦ２Ｐ７７２７６５（配列番号：２）、ＢＩＣＦ２Ｓ２３３３１８７（配列番号：３）、ＢＩＣＦ２Ｐ１３２４００８（配列番号：４）、ＢＩＣＦ２Ｐ５９１８７２（配列番号：５）およびその連鎖不均衡における１つまたは複数のＳＮＰから選択される１つまたは複数のＳＮＰの有無を検出することを含む方法によって、肝臓中銅蓄積に感受性であると決定されている、請求項４に記載の予防剤。

【請求項６】
イヌは、ＳＮＰ　ＢＩＣＦ２Ｐ５０６５９５（配列番号：１）、ＢＩＣＦ２Ｐ７７２７６５（配列番号：２）、ＢＩＣＦ２Ｓ２３３３１８７（配列番号：３）、ＢＩＣＦ２Ｐ１３２４００８（配列番号：４）、およびＢＩＣＦ２Ｐ５９１８７２（配列番号：５）の有無を検出することを含む方法によって、肝臓中銅蓄積に感受性であると決定されている、請求項５に記載の予防剤。
【請求項７】
イヌは、
（ａ）イヌのゲノムにおける請求項２から６のいずれか一項に記載の多型の有無に関するデータをコンピュータシステムに入力すること、
（ｂ）データを、ＧＯＬＧＡ５、ＡＴＰ７ａもしくはＵＢＬ５遺伝子中の１つもしくは複数の多型および／またはその連鎖不均衡における１つもしくは複数の多型、ならびに肝臓中銅蓄積に対するイヌの感受性とこれらの多型との関係に関する情報を含むコンピュータデータベースと比較すること、および
（ｃ）前記比較に基づいて肝臓中銅蓄積に対するイヌの感受性を決定すること
を含む方法によって、肝臓中銅蓄積に感受性であると決定されている、請求項１から６のいずれか一項に記載の予防剤。
【請求項８】
少なくとも１２０ｍｇ／ｋｇ乾物の濃度で亜鉛をさらに含む、請求項１から７のいずれか一項に記載の予防剤。
【請求項９】
イヌにおいて肝臓中銅蓄積に起因する疾患を予防する際に使用するための、請求項１から８のいずれか一項に記載の予防剤であって、前記イヌは、
（ｉ）純血種のラブラドールレトリバーである少なくとも一方の親を有する；および／または
（ｉｉ）肝臓中銅蓄積と関連する臨床症状がない；および／または
（ｉｉｉ）肝臓乾燥重量４００ｍｇ／ｋｇ未満の肝臓中銅濃度を有する；および／または
（ｉｖ）検出可能な肝疾患を有していない、
前記予防剤。
【請求項１０】
銅関連慢性肝炎を予防する際に使用するための、請求項１から９のいずれか一項に記載の予防剤。
【請求項１１】
食品がラベルされている、請求項１から１０のいずれか一項に記載の予防剤。